

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
観光地理		日本の観光地と観光資源		藤野 俊和	1年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	観光地・温泉・自然景観・都市・特産物			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける				
事前に受講するとよい科目		特になし				
講義の目的	日本には多くの観光地や観光資源が存在する。観光地や観光資源を適正に運営・管理していくためにも、観光地や観光資源が国内の「どこ」にあるのかを理解する必要がある。本講義では日本の観光地や観光資源について学び、知識を深めることを目的とする。これらの知識をもとに、自分自身で旅行先を柔軟にプランニングすることも重要である。本講義は旅行業務取扱管理者資格の「国内旅行実務」の受験対策としても位置づけられている。同資格の取得希望者は「観光文化資源論」も履修することをおすすめする。					
到達目標	本講義の到達目標は、日本各地の観光地・観光資源とそれらの位置関係を理解することである。					
講義内容	日本の47都道府県にある温泉、自然景観(山岳、河川、溪谷・峡谷、湖沼、島、岬、半島など)、都市・施設(庭園、神社、城郭、美術館、史跡など)および祭り・伝統行事・名産品・郷土料理などの観光資源を対象に、それらの位置や関係を説明する。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	授業概要、北海道1	授業の内容と進め方の説明、北海道南部(道南)			
	第2講	北海道2、東北1	北海道中央(道央)・北海道東部(道東)・青森県・岩手県			
	第3講	東北2	宮城県・秋田県・山形県・福島県			
	第4講	関東1	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県			
	第5講	関東2	千葉県・東京都・神奈川県・山梨県			
	第6講	北陸	新潟県・富山県・石川県・福井県			
	第7講	中部	長野県・岐阜県			
	第8講	東海、近畿1	静岡県・愛知県・三重県・滋賀県			
	第9講	近畿2	京都府・大阪府・兵庫県			
	第10講	近畿3、中国1	奈良県・和歌山県・鳥取県			
	第11講	中国2	島根県・岡山県・広島県・山口県			
	第12講	四国	徳島県・香川県・愛媛県・高知県			
	第13講	九州1	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県			
	第14講	九州2、沖縄	大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県			
第15講	まとめと復習	全体の復習				
指導方法	47都道府県の観光資源を説明するので、講義が中心である。観光資源を地図上に記入確認することにより知識の定着を図る。授業の資料は適宜配布する。					
事前学習	授業前の事前学習として、各回に予定されている地方・地域の観光資源について、その位置関係を地図帳などをもとに確認理解しておく必要がある。1時間程度以上の学習時間が目安である。					
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した観光資源ならびにその位置関係について、作成した地図などをもとに復習し知識の定着を図る。1時間程度以上の学習時間が目安である。					
成績評価方法	平常点(授業内課題)50%、本試験(筆記試験)50%					
テキスト	特になし					
参考書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を旅する大旅行地図帳、平凡社、2012年 ・全国の名所をめぐる誌上旅行：旅地図日本、昭文社、2022年 ・旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト1 観光地理<国内・海外>、大原出版、2022年 ・旅行実務シリーズ4：国内旅行実務-国内観光資源2023、JTB総合研究所、2023年 					
特記事項						